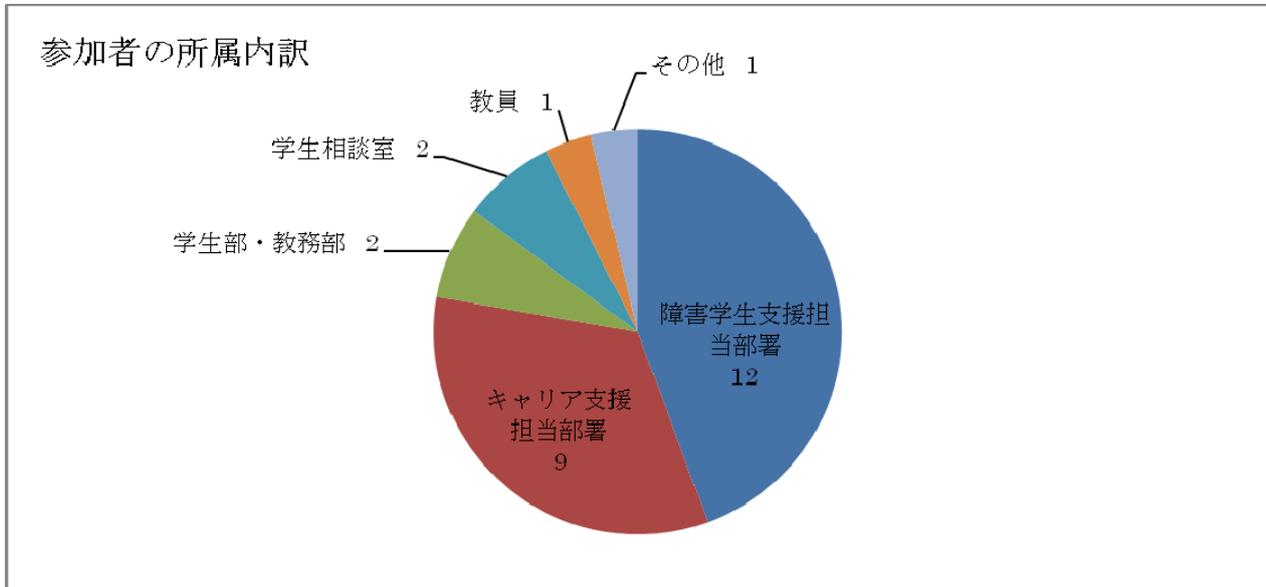


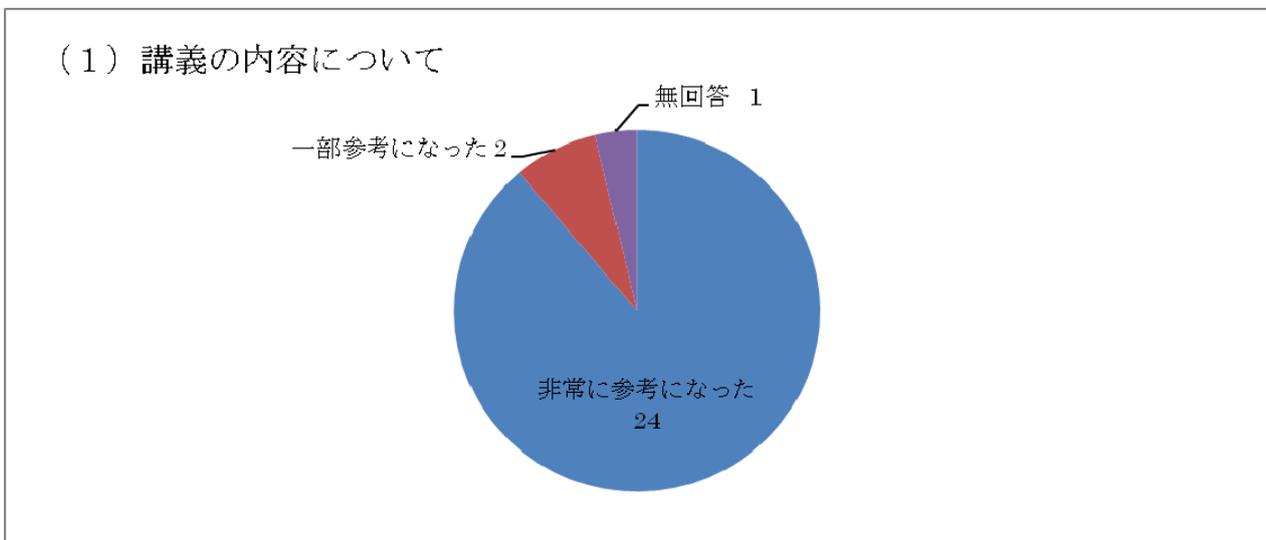
第12回関西障害学生支援担当者懇談会 アンケート集計結果

平成26年3月7日
キャンパスプラザ京都

1. 参加者の所属内訳



2. 講演について

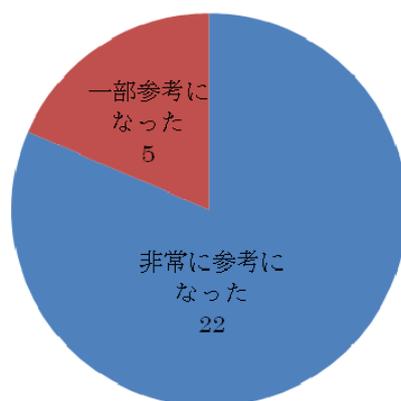


(2) 今後取り上げてほしいテーマについて

- ・合理的配慮のガイドラインの作り方と動向について
- ・学内教職員への研修や意識向上、支援学生への啓発について
- ・障がい者を雇用している企業の方および当事者の講演
- ・障がい支援室に関する学内連携、情報共有の仕方について
- ・障がい学生のキャリア支援に関する大学の取り組みと行政サポート（外部支援機関含）の活用について
- ・グレーゾーンを含む発達障害学生の大学生活（授業、友人関係）支援についての事例について
- ・自尊心、自己効力感、自己肯定感をもたせる支援方法について
- ・性同一性障害者支援など

3. 分科会について

(1) 課題の解決に向けて参考になったか



(2) 今後、分科会で取り上げてほしいテーマについて

- ・単位が取れず休退学する学生、発達障害学生、LD、知的障害学生への修学、就労支援について
- ・合理的配慮に悩むケースの事例検討、具体例（NG例含）、実践方法について
- ・学内教職員への研修や意識向上について
- ・グレーゾーン学生の取扱と障害受容へと導く取り組みについて
- ・障害学生の就職に関する部署間連携について
- ・企業側からの見解
- ・『多様性』（個人、環境、社会、トランスジェンダー、学生、保護者、社会の人々・組織、発達障害、身体障害、教員、職員、精神障害等）を受け入れる手法について

4. その他

(要望)

- ・分科会の時間がもう少しあれば、さらに中身の濃い話ができるかと思います。
- ・全員の参加者名簿の配布があればありがたいです。
- ・講演の後に質問をする時間があるとよかったです。

(感想)

- ・他大学の方との情報交換ができ、非常に勉強になり役立ちました。
- ・今回、本当に知りたい情報を聞けたので、少しでも対応する時に伝えられたらと思いました。
- ・大変勉強になり、自身の悩みが解決されるのみでなく、今後の方向を考える指針の参考になりました。
- ・講演では具体的な連携先が挙げられていて、つなぎ方など参考になりました。
- ・分科会では、入学時提出書類に「健康上の留意点」や「書いておきたいことのシート」を用意することで当事者からの自己申告に取り組めると思いました。
- ・学内共有のあり方については、大学規模の関係もあり形骸化しないようにすることが大切だと思いました。
- ・普段、修学支援が中心ですので、キャリアや就活支援のお話をいただき、議論に加えていただくことで新たな考え方を得られました。
- ・障がい学生を支援する専門部署が設置されているなど、他大学の取り組みや課題、外部機関の活用といった新たな情報が得られ有益でした。
- ・キャリア支援に学生支援がどこまでかわれるか？学生支援の担当者がどこまでキャリア支援をするか（できるか）？サポートできるのか（していいのか）？就職活動支援は、本来大学の業務なのか？等、根本的な問題を感じました。
- ・支援の方法や情報共有がうまくいかないことに課題を感じていました。他大学では教員が学科会議で毎回話し合い、また、他課合同会議で話し合うなど有効な事例をきくことができ、非常に参考になりました。
- ・大学生活だけでなく、最終目的である学生の社会進出（社会に送り出すこと）も含えて、就職活動支援につなげていけたらと思いました。
- ・様々な規模や部署の方の話から、自大学にも活かせる、参考にさせていただくようなヒントを沢山いただきました。
- ・厚労省の高大連携事業で進めていたことが、文科省や日本学生支援機構の事業と連動されておらず非常に残念に思っています。

以上